

株式会社 JA ライフ クリエイト 福島

JAウエディングプラン で結婚式をしませんか？

まずはお近くのJAへ！

JA組合員とそのご家族、そしてJAグループ役員であれば、お得に結婚式を挙げられる「JAウエディング」。県内の提携会場は現在左記の16施設となっています。新たに「あだたら高原 空の庭」が加わりました。

三大特典として会場料・引出物料・衣装料の10%割引があり、こちらは各会場のお得なプランとの併用が可能です。挙式後には、(株)JAライフクリエイト福島から福島県産焼肉セットのプレゼントも実施しています。また、JAウエディングをお申し込みの方に限り、サトウ時計店(会津若松市)の取扱商品(指輪・時計等)が10%割引になります。



ご利用の際には、事前にJAから会場への紹介が必要になります。結婚式場に問い合わせる前に、まずはJAへお問い合わせください。(※会場へ連絡を取られた後、または式場見学の後では特典を受けることはできません。)

JAふれあい食材
おすすめ
レシピ

めかぶと香味野菜の和え物

4月にお届けする材料を使用したレシピです



- 材料**
- 新物産直めかぶ(タレ付).....2個
 - きゅうり.....1/2本
 - みょうが.....2本
 - 生姜.....10g
 - 梅干し.....1個
 - 卵黄.....2個
 - かつお節.....適量

- 作り方**
- 商品が解凍してタレと和える。
 - きゅうりは5mm角、みょうがは縦半分に切って小口切り、生姜はみじん切り、梅干しは種を取って包丁の背でたたく。
 - 器に①と②を盛り、卵黄をのせてかつお節をかける。

●材料は1人分が基準になっております。
●盛付例はイメージです。
※材料の野菜がない場合は家庭にある好きな野菜をお使い下さい。

東北地方の長期予報

<予想される向こう1か月の天候>
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。天気は数日の周期で変わりますが、東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の降水量は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

遇別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

<気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>
3月23日~4月22日

【気温】東北地方	40	30	30
【降水量】東北日本海側	40	30	30
【降水量】東北太平洋側	40	40	20
【日照時間】東北日本海側	30	40	30
【日照時間】東北太平洋側	20	40	40

<気温経過の各階級の確率(%)>
3月23日~3月29日

30	50	20	
3月30日~4月5日	40	40	20
4月6日~4月19日	30	40	30

凡例: ■低い(少ない) ■平年並 ■高い(多い)
(仙台管区気象台 発表)

今月の主な行事予定

4月1日	管理部	平成31年度年度始め式
4月8日	畜産部	平成31年度牛枝肉セリ(年度初セリ)
4月9日	畜産部	平成31年度和牛子牛セリ(年度初セリ)
4月20日	畜産部	福島県ホルスタインショー

ラジオ福島 「農家の皆さんへ」

- 午前5時15分~25分 放・送・予・定
- 4月1日 営農企画部 農家手取り最大化プロジェクト
 - 4月2日 米穀部 ふくしま米 キャンペーンについて
 - 4月8日 畜産部 家畜市場価格について
 - 4月9日 園芸部 防霜対策資材
 - 4月15日 生産資材部 水稲除草剤の上手な使い方
 - 4月22日 米穀部 ふくしま米 販売情勢
 - 4月29日 JAライフクリエイト福島 JAふれあい食材について

編集後記

4月に入りました。全国の桜の開花の便りを耳にすると、福島もそろそろかな、と待ち遠しい気持ちになります。「福島に桃源郷あり」日本を代表する写真家故・秋山庄太郎氏が毎年訪れていたという福島市の「花見山公園」も、一番の見頃を迎えます。桃色・紅赤・黄色・白など、色とりどりの園地と、春の青空のコントラストは言葉では言い表せない美しさです。郊外に車を走らせれば、吾妻山の残雪をバックに、もも・なし・りんごの花が美しく広がります。果樹園の花々に目を奪われる一方で、開花の便りは、いよいよ今年の農作業が本格化することを実感させてくれます。さて、当会の事業は4月より新年度がスタートです。新たな顔ぶれで、各々が彩り豊かな花を咲かせられるよう、一丸となって取り組んで参ります。新年度もどうぞよろしくお願いいたします!

Farming Informatior

今月の営農情報

営農企画部

平成31年度特別栽培農産物 認証事業スタート

特別栽培農産物は、福島県の慣行栽培に比較して「化学合成農薬の使用回数が5割以下」「化学肥料の窒素成分量が5割以下」により栽培された農産物です。JA全農福島は、福島県特別栽培農産物認証協議会に登録された認証機関であり、平成14年より事業を開始しています。特別栽培農産物は農林水産省「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に基づいて表示(図1)され流通することが出来ます。また、第三機関による認証を受けた場合はさらに認証票(図2)を貼付することにより、表示の信頼性を確保することができ、消費者はもとより流通・販売業者に対して、より一層の安心感が提供できます。特別栽培農産物は、環境に優しい農業により栽培されたプレミアム農産物として取り組む事例が多くなっております。

表示ガイドライン (図1)

農産物	化学合成農薬	化学肥料(窒素成分)	農薬	肥料
野菜	○	○	○	○
果実	○	○	○	○
畜産物	○	○	○	○
水産物	○	○	○	○



認証票 (図2)



特別栽培トマトの現地検査

果実は12月、栽培開始が8月~翌1月の野菜は5月、玄米は1月~2月です。特別栽培農産物に興味のある方、またはお申込みをしたい方は、JAもしくはJA全農福島 農業技術センター (tel.024-912-2400) までお問い合わせください。